

文教厚生常任委員会報告書

令和6年12月11日

委員長 古賀 誠視

文教厚生常任委員会の所管事務報告事項について、調査の概要を報告いたします。調査に際しましては、12月3日に教育部長及び関係各課に出席を求め、委員会を開催いたしました。

教育部

文化課

古賀東中学校における海の漂着物の展示について、旧技術科室を利用し、漂着物の資料館としてではなく、歴史的・学術的な資料等の展示・保管スペースを開設する予定である。その一角に、石井忠氏が集められた漂着物や書物等の展示を検討しているとの報告がありました。

委員から、市長発信により新聞報道で明らかになったが、教育委員会の当初の方針では、どの基本目標の主要施策の中に、展示・保管スペースを設けると位置づけていたのかとの問いに、古賀市教育行政の目標と主要施策の「9.豊かな心を育む文化芸術活動の促進と文化財の保護及び活用の推進」における歴史的資料に関わる情報収集・保存・継承・公開の一部であると回答がありました。現在、令和6年度予算でこの教室は改装中であり、膨大な資料の整理に時間も要するため、令和7年度中を目途に開設を検討しているとのこと。

また、一般市民が回覧する際に生徒とのトラブルに発展したり、生徒が展示品を壊したりしてしまう可能性もあるが、運用や管理についてどう考えているのかとの問いに、児童生徒の安全を第一に考え、来校者との動線の切り分けや、警備上の問題がないよう設計しているとのこと。運用・管理面については、展示物を分類・仕分けした上で適切な配置を行いたいとのこと。